

血小板数(クエン酸血で測定)				201100	
				担当部署	
PLT(PT)				血液	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			CBC に準ずる		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)凝固した検体（凝集コメント報告許可） 2) サンプリングできない検体		
保管検体の保存期間			室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）		
検査結果・報告					
検査室の所在地			病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間			当日中		

生物学的基準範囲		設定なし			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		CBC に準ずる			
臨床的意義		E D T A 依存性偽性血小板減少の発生頻度は 0.1～0.2%で、種々の疾患を有している人、抗菌薬投与患者、自己免疫疾患に多いといわれていますが、健常人にも認められます。その機序の詳細は不明ですが、E D T A が存在すると血小板表面の抗原が変化し、免疫グロブリンが反応して凝集を引き起こすと考えられます。 EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」 1647-1648			